

# 監査委員決算審査報告

8月2日（火）から5日（金）まで4日間にわたり、平成22年度一般会計決算と6特別会計決算・1企業会計決算と事業実施状況についての審査があり次の意見を付して、報告がありました。

- 地方債は、将来に債務を残すものであり、起債にあたっては、安易な財源不足の対応策とするのではなく、将来の財政運営に及ぼす影響を十分考慮し、今後とも公債費負担の軽減に努められたい。
- 合併算定替が平成27年度で終了し、大幅な財源不足を生ずることが予想されるため、中長期的な財政計画等により、持続性のある行政運営の見通しを図ることが緊要である。
- 未収金等は、町税ばかりでなく、さまざまな使用料・負担金等にも見受けられるので、徴収については、個別的に担当部署等だけで対応するのではなく、全庁的な対応ができるような組織体制により、効率的な徴収を図り未収額の解消に努められたい。
- 地方財政の状況は厳しく、総合計画に示される重点事業や計画目標の検証を適宜行いながら、住民ニーズを的確に捉え、事業実施後のランニングコストまでを含めた視点での事業展開が望まれる。

監査委員 一木邦彦  
監査委員 鯉淵秀雄

## 財務比率

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
財政力指数	0.40	0.41	0.42
経常収支比率(%)	84.7	87.2	89.7
公債費比率(%)	11.6	13.5	14.6
起債制限比率(%)	6.9	9.8	10.5
地方債現在高(万円)	1,187,138	1,211,519	1,241,137

財政力指数……………「1」に近いほどよく、「1」を超えるほど財源に余裕があることを示す。

経常収支比率……………おおむね70%から80%が標準とされる。

公債費比率……………高いほど自由に使える財源がせばまる。おおむね10%程度

起債制限比率……………過去3年平均で20%以上になると起債の許可が一部制限される。

## 近隣町村との比較

### 数字で比べてもかなり厳しい!! 今後の財政はどうなる？

決算見込みを的確に把握して、予算編成及び予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図るよう努めることが大事！

	財政力指数	経常収支比率(%)	実質公債費比率(%)
<b>城里町</b>	<b>0.396</b>	<b>87.2</b>	<b>17.0</b>
県平均	0.750	90.0	12.0
茨城町	0.567	82.3	14.2
大洗町	0.809	94.6	7.1
大子町	0.332	89.2	13.5

※「茨城県市町村概況（平成23年度版）」より抜粋

#### 実質公債費比率

率が高いほど財政運営が硬直化していることを示しており、18%以上の団体は地方債の発行に際し許可が必要となり、公債費負担適正化計画を策定し、財政の健全化を図る必要がある。さらに、25%以上の団体は一定の地方債の発行が制限される。

## 平成22年度特別会計決算

特別会計及び企業会計の決算は以下のとおりです。

(単位：万円)

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康 保 険	保険事業	232,072	230,645	1,427
	診療所	25,269	24,512	757
老人保健		564	564	0
後期高齢者医療		17,265	17,259	6
介護保険	保険事業	147,510	146,980	530
	サービス	420	420	0
公共下水道事業		93,830	86,864	6,966
農業集落排水事業		75,881	72,187	3,694
水道事業	収益的 収入・ 支出	75,658	67,295	8,363
	資本的 収入・ 支出	12,108	31,511	△19,403